

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成25年12月19日 (2013.12.19)

【公開番号】特開2012-109890(P2012-109890A)
【公開日】平成24年6月7日 (2012.6.7)
【年通号数】公開・登録公報2012-022
【出願番号】特願2010-258570(P2010-258570)
【国際特許分類】

H 0 4 L 1/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 L 1/00 B

【手続補正書】
【提出日】平成25年11月6日 (2013.11.6)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 4 5
【補正方法】変更
【補正の内容】
【 0 0 4 5 】

この場合、分割部 2 4 は、同じ符号語を構成する符号化データが同じ伝送路を使って伝送されないように、ECC処理部 2 3 から供給された符号化データを供給された順に伝送路 C 1 乃至 C 4 に割り当てる。図 4 の例においては、符号語 1 を構成するブロック 1 , 2 , 3 の符号化データがそれぞれ伝送路 C 1 , C 2 , C 3 に割り当てられ、符号語 2 を構成するブロック 4 , 5 , 6 の符号化データが伝送路 C 4 , C 1 , C 2 に割り当てられている。符号語 3 を構成するブロック 7 , 8 , 9 の符号化データがそれぞれ伝送路 C 3 , C 4 , C 1 に割り当てられ、符号語 4 を構成するブロック 1 0 , 1 1 , 1 2 の符号化データが伝送路 C 2 , C 3 , C 4 に割り当てられている。